

きずな

KIZUNA

人権クエスチョンvol.12

大事にしてる? 体も心も

考えてみよう

令和5年の自殺の原因・動機で最も多いのは「健康問題」で12,403件。次に多い「経済・生活問題」5,181件の2倍以上にあたります。

※出典：厚生労働省「令和6年版 自殺対策白書」

01 「素直な心でこれからも」 2

小林 祐梨子さん(ひょうご人権大使・元陸上選手)

02 「人権を尊重するということ
-公正さとインクルージョン-」 3

鈴木 秀洋さん(日本大学大学院危機管理学研究科 教授)

03 「インクルーシブ教育～人と人が
共に生きるかたちを探り続けるプロセス～」 4

青山 新吾さん(ノートルダム清心女子大学人間生活学部 准教授・
インクルーシブ教育研究センター長)

04 「若者の就労支援の現場から」 5

谷口 慎一郎さん(認定NPO法人コムサロン21 副理事長)

05 「すべてのこどもにこども時間を」 6

熊谷 恵利子さん(認定NPO法人日本クリニックラウン協会 事務局長)

06 「いのちの大切さ-自殺予防を考える-」 7

川野 健治さん(立命館大学総合心理学部 教授)

07 「人身取引とは何か 私たちの課題は何か」 8

青山 薫さん(神戸大学国際文化学術研究科 教授)

HYOGOヒューマンライツ
作品コンテスト受賞作品 9

連載「国際社会と人権(12)
レイシャルプロファイリング」 10

望月 康恵さん(関西学院大学法学部 教授)

ふれあいサロン 11

情報ぶらざ 12





01

素直な心でこれからも

ひょうご人権大使
元陸上選手

こばやし ゆりこ
小林 祐梨子さん

1988年、兵庫県小野市生まれ。須磨学園高等学校、岡山大学を卒業。2007年4月豊田自動織機入社・女子陸上部へ入部。2008年6月に北京オリンピック5000m、2009年に世界選手権5000mに出場。2015年1月に陸上競技選手を現役引退。現在は駅伝解説やゲストランナー、講演会等で活躍。



Q 「ひょうご人権大使」の2期目を迎えた気持ち

A 「ひょうご・ヒューマンフェスティバル」や「人権のつどい」などの行事に参加させていただき、立ち止まって考える機会をいただきました。また日常生活での些細な人間関係について悩むこともあれば、パリオリンピックの現地で感じた世界規模な人権問題も肌で感じ、大小関係なく常に人権について心に留めて置きたいと感じました。

Q ひょうご人権大使として参加されたイベントで特に心に残っていること

A 毎年12月に開催されております「人権のつどい」にて人権宣言をさせていただきました。その後、特別講演が開かれ木村響子様が講師として登壇されました。講演会是对話型で進められ、それぞれが意見を言い合いました。一つの質問に対し、決して同じ答えはなく100人いれば100通りの考え方があり、「正解はないよ、どれも正しい答えだから」とおっしゃられ救われました。言葉というものは人に元気や勇気を与えることもできるが、たった一言で傷つけてしまうこともあることを改めて気付かされました。

Q 人権啓発イベントを通して感じた、人への感謝や人との絆について

A 今の社会はSNSで人と簡単に繋がることができ、とても便利な世の中なのは間違いありません。ただイベントへ足を運べば新たな出会いがあり普段繋がることのできない多種多様な皆さんとの交

流が待っていました。「ひょうご・ヒューマンフェスティバル」で講師として来られた澤穂希さんとの出会いもその一つです。初対面の私に「お昼ご飯まだだったら一緒に食べよう」と誘ってくださり、その温かいお人柄に触れ、とても出会いを大切にされている方だと感じました。この時代だからこそ実際に目を合わせて言葉を交わすことの大切さを強く感じます。

Q 各地で講演活動をされて感じる兵庫県民の人権意識の高まりについて

A 8月の人権文化をすすめる県民運動推進強調月間に兵庫県内の様々な小中学校で人権講演会をさせていただきました。その後届いたこどもたちの感想文に目を通すと、自分らしく生きるために「目標を持ちたい」「友達を大事にしたい」「親に感謝したい」など具体的に書かれており、深く人権について考えてくれている姿が印象的でした。

Q 読者に向けてのメッセージ

A このままの自分で良いのかと自問自答したり、周りの方と比べたりするとどんどん視野が狭まり生きづらくなってしまいますよね。子育てをしていると間違えたことをすればすぐに謝ったり、「すごいね」と他人に言えたりする素直な心をこどもに教えられます。人の数だけ価値観や生き方は違うけれど、それぞれが認め合い尊敬し合える世の中になっていくために、私も日々心がけながら生きていきたいです。笑顔あふれる兵庫県を一緒に作っていきましょう！



02

話してくれたのはこの方!



人権を尊重すること — 公正さとインクルージョン —

日本大学大学院
危機管理学研究科 教授

すずき ひでひろ
鈴木 秀洋さん

元自治体子ども家庭支援センター所長、男女協働課長、危機管理課長等。法務博士(専門職)、保育士、防災士。国・自治体の審議会・死亡事例検証委員等。主著『虐待・DV・性差別・災害等から市民を守る社会的弱者にしない自治体法務』、『行政救済実務ハンドブック(改訂版)』、『LGBTQ理解増進法逐条解説ハンドブック』等。

人権を尊重するとは

果たして、人権を尊重するとはどういうことでしょうか。自己実現・自己統治、ウェルビーイング、虐待のない社会、セクハラ・パワハラのない職場、いじめのない学校生活などが挙げられます。自分のこともあなたのこともともに大切にすると定義付けもできます。更に、努力をしないと評価されないのではなく、ありのままの状態でも尊重されるということ。自分が大切にしていることを発言できて、自分が苦手なことは人に助けてもらえること。自分の現状を隠さずとも、安全で安心な生活ができること。こうした状態が、人権が尊重されているということです。

障害がある、女性である、妊婦である、こどもである、高齢者である、外国にルーツがある、性的マイノリティであるなど、このような属性によって社会へのアクセスに支障がある場合に、自分が社会に合わせるためにその特性やニーズの変更・我慢を強いられるのではなく、社会側がその障壁を除去することで個々人の社会参画権を保障するという社会的包摂の考え方、すなわちダイバーシティ&エクイティ&インクルージョン(DEI)の考え方を社会の基盤とする社会モデルの実現をめざしている社会、それを人権尊重社会と私は定義付けています。

積極的に助けられてよい・持ちつ持たれつ

今まで人に助けを求めてはいけなく、人に迷惑をかけてはいけなくと教えられてきた人もいます。でも、肩の力を抜いて助けられてよいのです。そして、困っている人を見かけたらおせっかいでも、声をかけ、伴走するようにしましょう。そうすることが地域に住んでいる人々の命を紡ぐことにつながるのです。私達は誰も、一人では生きられない状態で生まれ、育まれながら人生の前半を生き、また人に助けられ

つ人生の後半を生きて行きます。助けを借りずに生きられる人は誰一人いません。みんな得意・不得意があり、発達も多様かつ凸凹で虹色です。持ちつ持たれつしながら、この日本という同じ場所で、同じ時代を生きています。

あなたの考えに反対であっても…

「私はあなたの説には反対である。しかしあなたがそれを発言する権利は命をかけて擁護する。」(タレントタイア『ヴォルテールの友人たち』)。対立や衝突は当然生じます。しかし、それでも排除し攻撃し合うのではなく、この格言のように、共生社会を担い合うことが人権を尊重することです。民主主義社会において私達が大切に育む価値観であり、あり様なのです。

私は、兵庫県でこどもたちの命を守るために日々懸命に仕事をしている多くの方々を知っています。

しかし、残念なことに、昨年来、兵庫県政を巡っては、SNS等で数多く、人権を尊重することとは対置されるような言説が流布され続けました。共生社会をつかって来た人々はこうした事態をどのように見ていたのでしょうか。こうした状況をこどもたちにどのように説明できるのでしょうか。

私達大人が、率先して、こどもたちの人権・未来を守り、笑顔一杯の地域環境を作っていくこと、そして、多様性を尊重し、公正で、包摂的な(DEI)人間関係を育む共生社会を、みんなで一步一步実現していく姿を見せて行きましょう。

information

鈴木秀洋研究室 HP

<https://suzukihidehiro.com/>



いろいろな記事や資料を掲載しておりますのでご覧ください。



話してくれたのはこの方!



インクルーシブ教育

～人と人が共に生きるかたちを

探り続けるプロセス～

ノートルダム清心女子大学
人間生活学部 准教授・
インクルーシブ教育研究センター長
あおやま しんご
青山 新吾さん

ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科准教授、同大学インクルーシブ教育研究センター長。公立小学校教諭、教育庁指導主事を経て現職。臨床心理士、臨床発達心理士。著書『エピソード語りで見えてくるインクルーシブ教育の視点』『インクルーシブ教育を通常学級で実践するってどういうこと』(共に学事出版)など。

インクルーシブ教育とは？

インクルーシブ教育と聞かれてどのような教育をイメージされますか。障害のあるこどもとないこどもが一緒に学ぶ教育をイメージされる方が多いでしょうか。1994年にスペインのサラマンカで開催された世界会議で採択されたサラマンカ声明で「学校は、こどもたちの身体的・知的・社会的・情緒的・言語的もしくは他の状態と関係なく、『すべてのこどもたち』を対象とすべきである」と述べられています。つまりインクルーシブ教育は、障害のあるこどもだけではなく、多様なすべてのこどもたちを包摂する教育なのです。一人ひとりが自分らしく、自分のやりたいことに取り組み、人と人が共に生きるかたちを探っていくプロセスを指すと考えられます。

インクルーシブ教育を進める ～例えばある教室で～

ある小学校の教室を想像してみましょう。体育の時間に、運動場で長縄跳びをします。授業の最初に、こどもたちが運動場に並んでいます。教室には様々なこどもたちがいます。例えば、まっすぐに並ぶことやじっと身体を止めるのが苦手なこどももいます。全員が同じように並ぶことに「そろえよう」とすると苦しいこどもが出ます。別に全員がそろわなくても、長縄跳びは始められると考えれば、苦しいこどもは減るでしょう。他にも教室には、跳ぶのが苦手な子、上手に跳べる子、障害があって跳べない子、回すのが得意な子など様々なこどもたちがいるのが当たり前です。そこで、そのこどもたちが長縄に参加できるやり方を考えてみました。例えば、跳ばない

けれど回すのが上手な子、一生懸命応援したい子、長縄跳びの動画を撮影できる子、その動画を見て分析できる子もいるでしょう。いえ、苦手でもチャレンジする子と、その子に跳び方を教えたり一緒に考えたりする子、そして運動場の片隅で見つめている子もいることでしょう。「AI(人工知能)とVR(仮想現実)でバーチャル長縄をつくりたいよな」と話す子や、運動場の片隅にいたこどもがチャレンジしている子を見て「逃げずにやるのが凄いな」とつぶやくかもしれません。それを聞いて他の子が「今は無理しないと自分で決めたのもいいね」とつぶやく姿もあればいいなと思うのです。

インクルーシブ教育 ～多様性や違いを大切に～

インクルーシブ教育は、人権を大切にする価値観、教育カリキュラム、授業方法、個別支援、環境、組織、財政面など多くの視点から進めていく必要があります。しかし、私たち一人ひとりが考えて今できることは、多様性や違いを大切にした取組をあちこちで、少しずつ確実に進めることだと考えられます。例えば、これまで「当たり前」だと考えていたやり方や「参加」の仕方、システムを見直し拓げていくことが大切です。これが、多様性を尊重し、人と人が共に生きるかたち、すなわち「共生社会」の実現へとつながっていくのだと思います。

〈引用文献〉

ユネスコ(1994)特別な教育的ニーズに関するサラマンカ声明と行動枠組,国立特別支援教育総合研究所。

https://www.nise.go.jp/blog/2000/05/b1_h060600_01.html(2024年12月23日)



話してくれたのはこの方!



若者の就労支援の現場から

認定NPO法人
コムサロン21
副理事長

たにくち しんいちろう
谷口 慎一郎さん

1985年生まれ。兵庫県佐用町出身。大学卒業後、一般企業に就職。2011年に退職し、東日本大震災の被災地である宮城県東松島市でボランティア活動に従事。同年にNPO法人コムサロン21入職。現在は、家事も通学もしていない無職の若者の就労支援をする「ひめじ若者サポートステーション」の総括コーディネーターとして活動中。

若者未就労の状況と課題

令和6年版「厚生労働白書」によると、15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない若年無業者は59万人となり、前年の57万人と比べて2万人増加しています。このため、国は、若年無業者等が充実した職業生活を送り、地域の将来を支える人材となるように、地域若者サポートステーション(以下、サポステ)を民間団体に委託し支援をしており、弊法人は中播磨・西播磨地域を対象とした「ひめじ若者サポートステーション」を運営しています。

「けど…」に隠れている言葉

「働きたいけど…」でも、どうしたら」という相談を受けます。その背景に隠れている言葉を探ると、「自分に向いている仕事が見つからない」「失敗が怖くて踏み出せない」などと教えてくれます。働くための自信や勇氣より不安感が勝り、その一歩が踏み出しにくくなっているのです。

そのような若者を支援するために、サポステでは「キャリアコンサルタントによる働くことに向けた相談」「働くための基礎的な知識を得るセミナー」「ボランティア体験や軽作業などのジョブトレーニング」「企業での職場見学&職場体験」の4つのプログラムを実施しており、令和5年度の実績数値では登録者が97名、就職や職業訓練等に進学された方が91名でした。登録者のうち、正規・非正規を含め過去に就労経験のある方は60%、一度も働いた経験のない方は40%でした。

また、登録者のうち、就労経験のある方の退職理由は、「聞いていた仕事内容と違った、作業スピードに付いていけなかった」等の職業選択のミスマッチや、「周囲の同僚や上司に相談できなかった」等のコミュニケーション

不足により、社内で孤立化が進み結果的に居場所を失い退職に至るケースもみられました。このような失敗体験から生じる不安感が積み重なり、次の就職活動を慎重にさせていることが伺えます。

働きやすいと思う職場環境と基本的人権

では、どのような職場環境であれば「働きやすい」と考えるのか、実際に登録者の方々に話を聞くと、「作業内容が明確である、マニュアルがある」「作業量や作業予定が共有される、可視化されている」「ハラスメントがない」などの意見があり、特段の配慮ではない、労働者として当たり前のことを求めています。視点を変えると、長時間労働やハラスメントなど不当に扱われてきた経験があると推察できます。

私たちは、仕事内容と環境がマッチし、能力を発揮して仕事に就かれている事例を知っています。サポステは、県内にサテライトを含め8か所あり、「職場環境を整えても若者が来ない」と悩んでおられる企業、「転職を繰り返したくない」「長く働きたい」と意欲のある若者が相談に来られています。お問合せをお待ちしています。就業に関わる方の人権意識を高め実践することは、無業者を含む多様な方が働きやすい社会に繋がると信じています。地域の皆様とそんな社会を作っていく一翼を担っていきたいと思います。





話してくれたのはこの方!



認定NPO法人
日本クリニクラウン協会
事務局長/クリニクラウン
くまがい えりこ
熊谷 恵利子さん

すべてのこどもにこども時間を

兵庫県神戸市在住。日本で初めて養成された認定クリニクラウンの一人として設立当初から活動を開始。2009年度より事務局スタッフを兼務。医療・教育関係者対象の研修・講義の講師や、養成・派遣事業の業務などを担当。後進の育成や協会の組織基盤強化を行う。2019年6月に事務局長に就任。赤い鼻の力を信じ、「こどもがこどもらしく過ごせる社会」「誰もが笑顔になれる社会」をめざし奔走している。

認定NPO法人日本クリニクラウン協会とは

みなさん! 赤い鼻をつけた道化師「クリニクラウン」って知っていますか?

クリニクラウンは、病院(クリニック)を訪問する道化師(クラウン)のこと。入院生活を送るこどもの病室を定期的に訪問し、入院しているこどもたちが病気のことを一瞬で



クリニクラウンの小児病棟訪問の様子

も忘れて、こどもらしく過ごせる「こども時間」を届け、遊びやユーモアやコミュニケーションを通してこどもの成長をサポートしています。

すべてのこどもにこども時間を

入院中のこどもたちは、病気の治療のために様々な制限があり、痛いことやがまんすることがたくさんあります。また、家族に迷惑をかけたくないと、大人びたふるまいをするこどもたちもいます。入院生活は、こどもがこどもらしく過ごすことが難しい環境だからこそ、ワクワクしたり、ドキドキしたり、時には真剣な表情を見せたり、ニヤッといたずらっ子の表情をしたり、くやしがりたり、大笑いしたり、いろんな感情を素直にだせる時間。心が動く瞬間。その子がその子らしく過ごせる「こども時間」が大切だと考え、クリニクラウンは活動しています。そして、病院スタッフのみなさんと協働し、療養環境の向上をめざして2005年から活動しています。

想いを伝えること

～あなたが笑うと世界が変わる～

コロナ禍、お手紙が届きました。めいちゃんは心臓の病気で、生まれてからほとんどの時間を病院で過ごしてしま

た。母親の手紙に「めいちゃんがお空に旅立ったこと。」が書かれていて、クリニクラウンの似顔絵の裏には「ありがとう」の文字が……。自分ですべて渡す!と言って書いた似顔絵です。めいの気持ちを受け取って下さい。クリニクラウンに出会えたこと、本当に本当によかったと心から思います。つらく痛い入院生活に花を咲かせてくれました。これからもたくさんのこどもさんを楽しませてあげてください」と綴られていました。



めいちゃんからのお手紙

「クリニクラウンのこと大好き!」「待ってるよ!」そんなめいちゃんの想いを受け取ったからこそ、コロナ禍、大変なことがたくさんありましたが、活動を続けていくことが出来たと思います。想いを伝えてくれたからこそ、がんばることができる。だから、想いを伝えるって本当に大切だということを、教えてもらいました。

みなさんは、身近な人に「ありがとう」って伝えていますか? 「あなたがいてくれてうれしい。助かってるよ。ありがとう。」職場でも家庭でもいざ伝えるのって難しいですよね。でも、気づいたときに、「会えてうれしい、今日も一緒にがんばろう」そんな気持ちをこめて、ニコッと挨拶するだけでも世界が変わってくると思います。そして、病気や障害を抱えるこどもたち家族のことに、少しでも関心をもってもらうことで、世界は変わっていくのではないのでしょうか? これからも、みんなで一緒にたくさんの「こども時間」を届けていきましょうね!



06

話してくれたのはこの方!



いのちの大切さ — 自殺予防を考える —

立命館大学
総合心理学部 教授
かわの けんじ
川野 健治さん

立命館大学総合心理学部教授に着任する前は、国立精神・神経医療研究センターに16年、そのうち10年は自殺予防総合対策センターという部署に所属。自殺という課題は複数の領域が協力しながら、支援資源を地域で組み合わせて考えていくことから、大学ではコミュニティ心理学を担当。

なぜ自殺を予防するのか

自殺予防に取り組む理由が必要でしょうか。生存権を考えることは理にかなっているかもしれません。日本国憲法第25条で「すべての国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」があると謳っています。自らの生を終わらせたいと思っている方は、生存権が保証されていない状況にあるといえるのではないのでしょうか。そうであるなら、同じ法の下で暮らす私たちが課題解決に協力することは自然なことでしょう。たとえば、令和6年版自殺対策白書では、前年の自殺の原因・動機では「健康問題」が12,403件※と最も多いと報告されています。このすべてが適切に医療を受けていたのでしょうか。地域格差、精神障害への偏見、生活困窮等を背景とする医療へのアクセス不全がないのかを検証し改善に努めることは、大切な社会課題です。

あるいは、私たちが他者に向ける心から考えてみてはどうでしょう。哲学者レヴィナスは、対面する相手に対して抱くイメージのことを「顔」と表現しました。通勤で急ぐ私の目の端に、つらそうにしゃがみ込む人の姿が目に入った。気にしながらも急ぎ足で通り過ぎたとき、後ろで「大丈夫ですか」という声が聞こえた。安心したけれど、少し後悔が残ってしまう。私はつらそうだった人の「顔」を受け止めていたのに、それに応答しなかった。Responsibilityという言葉には、応答できるという意味があり、また責任という意味もあります。私たちが社会の中で誰かとともにいるときには、たとえ見知らぬ人にも、根っこのところで何らかのつながり「応答/責任」を感じているのでしょうか。そして、忙しい社会生活で誰かに気遣うことに躊躇ってしまうのは、実は私たちの心に沿わないことだと、この哲学者は教えてくれます。

自殺をしてはいけないのか

ここまで、私たちが日本でともに暮らす限り他者の自殺を見ごせないはずだ、と述べました。しかし、別の視点もあります。「苦しくて耐えきれない人に、死んではならないと言えるだろうか」「誰にも迷惑をかけたくないのでそっとしておいてほしいと考えているかも」「熟慮の選択だから尊重しないと」と当人の心情に思いを馳せるのです。確かに当人を思いやることなくして、単に自殺を予防すべきと主張すると、自殺は悪いことだ、止めなかった人は間違っている、と単純化しかねません。不幸にして自ら命を絶たれた方やご遺族の名誉を毀損していないでしょうか。

いのちを大切にすること

このように、いのちを大切にすることを前提として、自殺予防の正当性を主張することは時に難しさを伴います。おそらく考える順序は逆なのです。自殺で亡くなる人がいることをそれぞれの立場から考え、一つの視点に捉われず意見を分かち合うことで、結果的に「お互いの」いのちを大切にできる社会へと向かう。その絶えざる営みが自殺予防だと思えます。

自殺の原因・動機の推移(令和4年～令和5年)

自殺者数(人)

	総数	原因・動機 特定者	原因・動機 不特定者
令和4年	21,881	19,164	2,717
令和5年	21,837	19,449	2,388



原因・動機(件)

	家庭問題	健康問題	経済・生活 問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他
令和4年	4,775	12,774	4,697	2,968	828	579	1,734
令和5年	4,708	12,403	5,181	2,875	877	524	1,776

※出典「令和6年版 自殺対策白書」



話してくれたのはこの方!



人身取引とは何か 私たちの課題は何か

神戸大学
国際文化学研究科 教授
あおやま かおる
青山 薫さん

法政大学卒後、会社員、結婚、出産を経てイギリスに留学。ウォーリック大学で修士号、エセックス大学で博士号を取得。帰国後、京都大学助教などを経て現職。この間に、離婚、同性パートナーとの「再婚」、パートナーの出産で子育てに戻り、昨年からは国際別居家族中。専門は、社会学、ジェンダー・セクシュアリティ研究、移民研究、セックスワーク研究。

人身取引と日本

人身取引は、国際社会がこの20年あまり対策に苦心している人権侵害です。人身取引は、国連越境組織犯罪防止条約を補完する人身取引禁止議定書において、搾取を目的とし虚偽、暴力などの手段を用いて人を移送するなどの行為を行うことと定義され、近年では国境を越えない場合も含まれています。日本は、おもに1980～90年代に国内の性風俗産業への外国人女性の人身取引が問題となったことなどから、2004年に人身取引対策行動計画を策定し、合わせて刑法など関連法規を改正しています。しかし2020年には、とくに外国人技能実習生の処遇が人身取引とみなされ、再び非難をあびています。強制や賃金不払いや暴力をふくむ、劣悪かつ合意のない労働と搾取が問題になったのです。政府は継続して取り組みを行っているものの、その実効性が疑問視され、技能実習制度は2027年をめどに廃止される見通しとなりました。

人身取引は身近に

では、人身取引は悪であり、国際社会における正義がこれを倒そうとしており、日本も被害者救済と加害者処罰を早急に進めなければならない、という勧善懲悪ストーリーに従って対処すれば人身取引はなくなるのか—その答えは残念ながら否です。

人身取引のきっかけは、従姉のお姉さんが、「いい仕事があるのよ。こっちで安月給でこき使われるより東京で3、4年暮らして楽しく稼いだら?うちの子がもう行っているから心配ないよ!」と誘ってくれたことかもしれません。このお姉さんも実は悪徳業者ということではなく、本気で

「いい仕事」と思っているかもしれません。そして本当に、どこの国でも、若者が現金収入を得る仕事は非常に搾取的であることが珍しくありません。たとえば、ファストファッションの工場です。1分間に7枚のシャツをたたむ単調な仕事を1日12時間続けて最低賃金を得るよりも、融通が利いて拘束時間が短い性風俗産業で3倍の収入を得た方がずっとまし、外国に行く経験ができるならもっとまし、と実感する人は少なくありません。

私たちの責任

グローバルな北と南、都市と地方、欧米人とアジア人、男性と女性、大卒と中卒、使用者と被使用者などのグローバルな格差・属性による差別がある限り、よりよい収入と人生の機会を求めて移動する人を止めることはできません。にもかかわらず労働市場が閉鎖的で入国管理が厳格すぎるならば、その裏をかこうとする不法・脱法行為も後を絶たないでしょう。このような人の移動の産物である人身取引の原因と結果を、個々人の悪や無知や悲劇のみに帰することには無理があります。それは自分たちの責任に目をつぶることになるのではないのでしょうか。

外国人も移民も労働者も、誰もが騙されず過酷な搾取や暴力を受けずに生きるためには、そもそも国家や資本が提供している格差と差別に、私たちがそれぞれの持ち場で抵抗することが必要ではないのでしょうか。外国から来た人びと、移民の人びと、その家族、子どもたちと一緒に、隣人として暮らし、同僚として働き、友人として遊び、必要な時には助け合う生活を、積極的につくっていくことが必要ではないのでしょうか。こういったことが、遠回りに見えて実は現実的ではないのでしょうか。

HYOGOヒューマンライツ 作品コンテスト

〈受賞作品紹介〉

🌿 文芸部門 詩分野 優秀賞 🌿

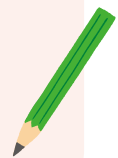
〈タイトル〉 ころおと 〈作者〉 ひ な

きっと 心には 音がある
心には 音楽がある
やさしい音 元気な音
さびしげな音 かたい音
全部 大事な 自分だけの音
話していて
気が合うと思った相手がいるなら
それは
心の和音が 合っているということ
でも
和音が くずれる 相手もいる
忘れないでほしいことは
相手にも 心の音が あるということ
無理に 相手の音を 尊重しすぎて
しなすぎても だめ
山あり 谷あり
ころおとは おたがいを ささえあつて
一つの音楽をつくる
それができるから

HYOGOヒューマンライツ作品コンテスト作品集講評より

目には見えない心、音(音楽)という比喻を使って表現しています。心にはさまざまな表情があつて、それは相手の心と響き合うことで心の和音となる。もちろん、響き合わないこともあります。そんなときでも、相手にも自分とは違う心の音があることを忘れまいというわけです。そこに相手を尊重し、お互いに支え合う気持ちが芽生え、一人一人を大切にできる社会へとつながっていくようにしたいものです。

詩人 HYOGOヒューマンライツ作品コンテスト文芸部門審査委員 ときさと じろう 時里 二郎





国際社会と人権

Vol.12

現在、理解がますます求められる「人権」について、国際機構論を専門とする望月先生と考えてみましょう。

今回のテーマ

レイシャル プロファイリング

もちづき やすえ

関西学院大学法学部 教授 望月 康恵さん



関西学院大学法学部教授、前人権教育研究室室長。専門は国際法・国際機構論。著書に『新国際人権入門—SDGs時代における展開』（共著）、『移行期正義—国際社会における正義の追及』（単著）など。

持続可能な開発目標(SDGs)の目標10は「人や国の不平等をなくそう」、目標16は「平和と公正をすべての人に」です。レイシャルプロファイリングは、これら目標の達成に向けた取り組みにおいて問題となっています。

レイシャルプロファイリングとは、警察などの法執行機関が、人種、肌の色、出自、国籍や民族的な背景などに基づいて、犯罪行為に個人が関与しているかどうかを判断したり、捜査活動の対象を決めたりすることを指します。

レイシャルプロファイリングが問題視されるのは、それが客観的基準や正当な根拠に基づいていないからです。レイシャルプロファイリングは、職務質問や捜索、身元確認、調査、逮捕等に利用されますが、生命に対する権利、人身の自由と安全、プライバシー、移動の自由、結社の自由、効果的な救済措置など、個人の市民のおよび政治的権利を侵害する可能性があります。

9.11同時多発テロ以降、世界中で、テロリストのプロファイル(属性や特徴)に基づいた対策がとられてきました。しかし、人種や民族、出自、宗教等のプロファイルに基づいた推測による対応は、対象となる個人の人権を侵害するだけでなく、テロリストを見つけ出す手段としては適切でなく効果もないばかりか、逆に悪影響を与えるこ

とが指摘されてきました。

レイシャルプロファイリングは、個人や社会に不利益をもたらすことがあります。特定の属性を持つ人や集団は、日常生活の中で、警察から職務質問を頻繁に受けることがあるかもしれません。レイシャルプロファイリングの対象となったと感じる人は、法執行機関への信頼を失い、協力する意欲も低くなるので、レイシャルプロファイリングは、法執行機関の仕事に支障をきたすでしょう。さらにレイシャルプロファイリングは、人種差別を被る人や集団について、犯罪を行いやすい人や集団としてレッテルを貼り、誤ったイメージを世論に与え、社会に偏見を拡散する状況を引き起こしかねません。

日本も加入する人種差別撤廃条約の下の委員会は、「法執行官によるレイシャルプロファイリングの防止と対策に関する一般勧告第36号(2020年)」において、レイシャルプロファイリングを撤廃する法的措置や法執行機関に対する人権教育訓練の実施を国家に勧告しています。SDGsの達成に向けた取り組みとしても、レイシャルプロファイリングをなくしていくことが求められています。



人権啓発映画

“STEP OUT にーにーのニライカナイ”

沖縄を舞台にダンサーを目指す少年の成長と家族の絆を描いた物語

あらすじ 主人公・踊^{よう}の母はシングルマザーで、ホテルの清掃とスナックのバイトの掛け持ちで家計を維持しているため、中学生の踊が料理や洗濯などの家事をこなし、緘黙^{かんもく}気味の妹の面倒もみています。そんな踊にはダンスの才能があり、オーディションに勝って東京へ行く「現状打破」か、沖縄で母と妹を支え続ける「現状維持」か、決断しなければなりません。

多くの映画が「現状打破」で成功する主人公を描いてきたし、私たちが反射的に「そうでなけれ

ば」と思いがちです。しかし「現状維持」の戦い、地元にとどまり、家族との生活や地域のつながりを築き上げ維持している人たちだって、敗者などではない。そんな戦いも脚光を浴びて良いのではないのでしょうか。

監督／堤幸彦 共同監督／平一紘 出演／仲間由紀恵、Soul、又吉伶音、伊波れいり 他／2025年／日本／96分／配給：ギャガ



3月14日(金)より全国公開

©「STEP OUT」製作委員会

ふれあい サロン

とても便利な

投稿&クロスワードで
オリジナルふせんを
プレゼント!

問 アルファベットを順番に並べると、何という言葉になるでしょう?

1	2	3	4	5
K		F		
6	A			B
		8	9	
H			L	
		14	15	
		D		
16	17	18		19
	E			I
20				21
		C		J

たてのカギ

- ① 上手の反対
- ② 美に関する意識
- ③ 食べ物に添えて食欲をそそるもの。ネギやワサビ、唐辛子など
- ④ 牛や羊や鹿の頭にある突起物
- ⑤ 葉や絵の具などの濃さを薄めること
- ⑨ 佐渡島にいる絶滅危惧種の鳥
- ⑩ 日本史よりも広い地域の歴史
- ⑪ 地面より少し高くなっていて、板などを張ったところ
- ⑬ 体つきのこと
- ⑮ 大蛇のこと。ヤマトノ_____
- ⑰ 寿司に合わせる新ショウガのこと
- ⑲ 野球のベースのこと



よこのカギ

- ① 今年の干支です
- ③ ついついやめられなくなること。_____になる
- ⑥ ユーラシアやアフリカなどがあります
- ⑦ 慶事などの贈答品に沿える飾り
- ⑧ 茨城県の県庁所在地
- ⑩ これが採れる地域を油田といいます
- ⑫ 家に帰ること。_____ラッシュ、_____部
- ⑭ 体の一部分。_____が広い、_____から火が出る
- ⑯ 栗などの実を包む、とげが集まった外皮の部分
- ⑰ 地方の。_____線、_____番組、関西_____
- ⑲ 後ろに倒れておしりを地面に打ち付けること
- ⑳ これが残らないように全力を尽くそう

1・2月号の答え

ユニバーサルデザイン

読者からのお便り 1・2月号を読んで

阪神・淡路大震災から30年を迎え、久しぶりに小学校で防災授業を行いました。まだ生まれていない何も知らない子どもたち。真剣に話を聞いてくれ、時に見せてくれる笑顔に癒されました。
(赤穂市 兄ちゃんさん)

「きずな」を手にとると人権のことが一堂にわかる。程よいページ数なので気軽に読んで、互いに交流の場にしていきたいです。

(加古川市 ヨッシーさん)

「読者からのお便り」の投稿掲載者(令和7年5・6月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)とに、「オリジナルふせん」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見や感想、人々とのふれあいを通した心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。 ※投稿掲載時はペンネームの使用も可能です。

応募方法

はがき、FAX、Eメール、HPの「きずな投稿」で受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。

締め切り **令和7年4月15日(火)必着**

応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号 県立のじぎく会館内 (公財)兵庫県人権啓発協会 「きずな」ふれあいサロン係
TEL:078(242)5355/FAX:078(242)5360
Eメール:info@hyogo-jinken.or.jp
*応募者および投稿者の個人情報は管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。





兵庫県立のじぎく会館ご利用案内

のじぎく会館は、県民の皆さまの研修や講習、会議などに利用していただく施設です。館内では、無線LAN(Wi-Fi)も利用可能となっておりますので、ぜひ、ご利用ください。

利用ご案内

- 利用時間:平日、土日の9時から17時まで(午前のみ、午後のみも可)
- 休館日:国民の祝日(振替休日を含む)、年末年始(12月29日~1月3日)(その他改修・清掃等で使用できない日があります)

施設ご案内 *括弧内は室数

- 大ホール(1):360人(机使用の場合240人)
- 大会議室(1):126人 ●特別会議室(1):24人
- 中会議室(8):24~42人 ●小会議室(4):12~15人

利用にあたって

事前申請が必要です。

- 仮予約**・・・「兵庫県公共施設予約システム(HYOGOカンタン予約)」からご予約ください。

※事前に利用者登録が必要です。

※仮予約は利用日の1年前の属する月の初日から可能です。

※キャンセル入力は速やかにお願いします。



事前申請はこちらから

- 利用の確定**・・・

e-mail(yoyaku@hyogo-jinken.or.jp)またはFAX(078-242-5360)で「利用許可申請書」の提出をお願いします。

・利用日の3ヶ月以上前からの仮予約・・・利用日の60日前までに提出

・利用日の2ヶ月以上前からの仮予約・・・利用日の10日前までに提出

・上記以外の仮予約・・・速やかに提出

※期日までに提出がない場合は仮予約が取り消しとなりますのでご注意ください。

無料貸し出し備品

- マイク(有線、ワイヤレス)・ホワイトボード
- プロジェクター・スクリーンなど

使用料の支払い

利用許可申請書を提出後に確定した金額を、事前振込もしくは当日現金で納付ください。



無料でご利用いただける部屋もあります

- ふれあいルーム(多目的室84人)

学習・交流等に自由に利用することができます。

(専用使用の場合は有料。また、専用使用中の利用は不可。)

- 図書資料室

人権に関する図書、資料等を閲覧することができます。

(雑誌を除き、貸出を行っています。)*人権関係のビデオが視聴できます。

※詳細については、当協会ホームページでもご覧になれます。お問い合わせ、お申込みは、右下欄外までご連絡ください。

人権研修講師を派遣します!

(公財)兵庫県人権啓発協会では、住民学習会、企業研修会、PTA研修会など様々な人権研修会に、講師を派遣しています(兵庫県内に限る)。

研修テーマ

子ども(いじめ、虐待、不登校など)、高齢者、障害のある人、インターネット、同和問題(部落差別)、男女共同参画、多文化共生、セクハラ・パワハラ、LGBT、メンタルヘルス、公正採用、企業の社会的責任、地域づくり、人権全般、住民学習会の進め方など

費用

派遣に際しては、次に掲げる研修料と旅費が必要です。

- 研修料(1回当たり)

①受講者が50人以下の場合 15,000円(税込)

②受講者が51人以上の場合 25,000円(税込)

※賛助会員(法人・団体)様には1口につき10,000円の割引があります。

・オンライン研修も可能。ただし、「録画データによる研修」を希望される場合は、別途料金をいただきますので事前にご相談ください。

- 旅費

講演会、研修会場までの旅費(県の旅費規程に準じます)

問い合わせ先 研修部

3月は自殺対策強化月間です

一人で悩まずお電話ください。兵庫県では、自殺やうつ病等の精神疾患についての県民各層への正しい知識の理解の促進や、様々な悩みや問題を抱える人のための各種相談窓口を設置し、自殺予防に取り組んでいます。お悩みのある方は、下記相談窓口をご活用ください。

相談窓口	電話番号等	対応職員	相談日時
兵庫県いのちと心のサポートダイヤル	078-382-3566	精神保健福祉士・臨床心理士等	月~金曜 18:00~翌8:30 土・日曜・祝日は24時間
兵庫県こころの健康電話相談(神戸市以外の方)	078-252-4987	保健師、精神保健福祉士	火~土曜 9:30~11:30、 13:00~15:30
自殺とこころの健康電話相談(神戸市内の方)	078-371-1855	保健師、臨床心理士、精神保健福祉士等	月~金曜 10:30~18:30
経済問題等心の悩み相談事業 夜間電話法律相談	078-341-9600	弁護士、精神保健福祉士	土曜17:00~20:00 日曜17:00~21:00
ひょうご女性サポートホットライン~ここふれ~	0120-62-3588	医師、弁護士等(女性相談員)	火~土曜 9:00~12:00、 13:00~16:00
LINE公式アカウント「いのち支える兵庫県」 友だち追加はこちら @nyl0284n(アットエヌワイエルゼロ284エヌ)		精神保健福祉士、臨床心理士等	毎日 18:00~21:30

兵庫県
人権啓発協会HP



X



Instagram



ホームページ、SNSでも情報発信中。フォロー、リツイート等よろしくお願ひします。

兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内

TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360

✉ info@hyogo-jinken.or.jp

2025(令和7)年3・4月発行